

2025年度第4回町田市子ども・子育て会議

議事要旨

【開催概要】

日時：2026年2月5日（木）18:00～18:51

会場：市庁舎 会議室10-2～5

【議事次第】

- 1 開会
- 2 事務連絡
- 3 議題
 - (1) 第3期町田市子ども・子育て支援事業計画の変更について（資料1）
 - (2) 2026年度 町田市子ども・子育て会議の審議事項と年間スケジュールについて（資料2）
- 4 報告
 - (1) 2025年度に認可を予定する乳児等通園支援事業について（追加）（資料3）
 - (2) 認可保育所の利用定員の変更について（資料4）
 - (3) 2026年4月 認可保育所等への入所申込み等の状況（1次選考）について（資料5）
 - (4) 学童保育クラブ 2026年度入会の申請状況について（資料6）
 - (5) 成瀬子どもクラブの開館について（資料7）
- 5 答申
- 6 その他
- 7 閉会

【配布資料】

- 資料 1 - 1 第 3 期町田市子ども・子育て支援事業計画の変更について
- 資料 1 - 2 第 3 期町田市子ども・子育て支援事業計画（変更案）
- 資料 2 2026 年度町田市子ども・子育て会議 審議事項と
年間スケジュール
- 資料 3 町田市乳児等通園支援事業の認可予定について（追加）
- 資料 4 認可保育所の利用定員の変更について
- 資料 5 2026 年 4 月 認可保育所等への入所申込み等の状況（1 次選考）
について
- 資料 6 学童保育クラブ 2026 年度入会の申請状況について
- 資料 7 成瀬子どもクラブの開館について

2025年度第4回町田市子ども・子育て会議 委員出席者

子ども・子育て会議 委員

氏名	所属	出欠
◎鈴木 美枝子	玉川大学	出
○菅野 幸恵	青山学院大学	出
下尾 直子	洗足こども短期大学	出
駒津 彩果	東京三弁護士会多摩支部	出
矢口 政仁	町田市私立幼稚園協会	出
関野 鎮雄	町田市法人立保育園協会	出
北澤 英明	町田市社会福祉協議会	出
畠中 勝美	町田市立小学校校長会	欠
杉浦 元一	町田市立中学校校長会	出
旭岡 善介	東京都立町田の丘学園	出
小出 伸子	町田市民生委員児童委員協議会	出
中瀬 美帆	町田市立中学校PTA連合会	出
村野 明子	町田市医師会	出
松井 大輔	町田商工会議所	欠
井上 善史	市民	出
蓮池 真穂	市民	欠
渡邊 蔵之介	市民	出
安藤 朝美	町田市青少年委員の会	出
酒井 恵子	町田市障がい児・者を守る会すみれ会	出

◎会長 ○副会長

備考：傍聴者（3名）

2025年度第4回町田市子ども・子育て会議 担当課出席者

氏 名	所 属
鈴木 亘	子ども生活部部長
香月 勇人	子ども生活部子ども総務課長
島崎 翔	子ども生活部児童青少年課長
三浦 啓史	子ども生活部保育・幼稚園課長
田中 茂明	子ども生活部子育て推進課長
堀 秀彰	子ども生活部子ども家庭支援課長
江成 裕司	子ども生活部子ども発達支援課長
遠藤 聡人	子ども生活部子ども発達支援課相談・療育担当課長
大山 聡	学校教育部指導室長

事務局：深井 健央、小林 まりえ

【議事内容】

1 開会

子ども総務課企画総務係担当係長：ただいまから、2025年度 第4回 町田市子ども・子育て会議を開会いたします。私は、子ども総務課企画総務係担当係長の深井と申します。議題に入る前まで、司会進行を務めさせていただきます。議事に入る前に、会議の欠席、遅刻のご連絡をお伝えいたします。本日は畠中委員から欠席との連絡をいただいております(松井委員、蓮池委員欠席)。また、安藤委員から遅れる旨の連絡をいただいております。本日は半数以上の委員の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。本日の会議の進行ですが、1時間程度を目安に進行していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。また、議事要旨作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。

2 事務連絡

子ども総務課企画総務係担当係長：会議の公開について、本日は2名の方が傍聴を希望されています(後ほど1名追加)。特にご意見がなければ、公開することよろしいでしょうか。

一同：(異議なし)

子ども総務課企画総務係担当係長：それでは傍聴人の方の入室をお願いいたします。傍聴人の方が入室されましたので、会議を進めさせていただきます。今回の会議から、1名の委員が交代されましたので、紹介させていただきます。町田市民生委員児童委員協議会から選任の朝倉委員から小出委員に交代となります。それでは小出委員、一言お願いいたします。

[小出委員あいさつ]

子ども総務課企画総務係担当係長：ありがとうございます。

議題に入る前に、事務局から会議の運営についてお伝えいたします。発言する際には、まず挙手をしていただき、会長に指名をされてから発言をお願いいたします。議事要旨作成のため、ご自身のお名前を述べていただいてから発言をお願いいたします。なお、子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援に関する事項についてご審議いただく場となります。皆様から建設的なご意見をいただくこと

で有意義な議論ができるよう、ご協力をお願いいたします。

続きまして、本日配付している資料の確認をいたします。お手元の資料をご覧ください。

■資料の確認

[資料 1～7 の確認]

子ども総務課企画総務係担当係長：ここからの進行につきましては、鈴木会長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

3 議題

(1) 第3期町田市子ども・子育て支援事業計画の変更について

鈴木会長：新年初回となりますが、本日が今年度最後の会議となります。ぜひ皆様方からご意見をお聞かせいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議題に入りたいと思います。まずは議題1の第3期町田市子ども・子育て支援事業計画の変更について、担当課から説明をお願いいたします。

[資料 1-1、1-2 の説明]

矢口委員：乳児等通園支援事業の算出方法について確認させてください。認可保育所では週5日保育を行っていますが、乳児等通園支援事業の前身である町田市の未就園児預かり推進事業は週2日となっています。事業内容が異なりますが、量の見込みや確保内容の算出の際、認可保育所等の教育・保育と乳児等通園支援事業を同じ表の中で計上して良いのでしょうか。

子育て推進課長：計画書の章立てとしては、教育・保育と乳児等通園支援事業を一緒にしたつくりになっていますが、資料1-2でご覧いただくと、113ページからが教育・保育施設ということで、幼稚園、保育園、認定こども園などのニーズ量と確保量を示しており、ここに乳児等通園支援事業は含まれていません。また、119ページからは乳児等通園支援事業のみのニーズ量と確保量となっており、幼稚園、保育園、認定こども園などは含まず、別々に計算しています。それぞれ事業の目的が異なるため、ニーズ量などについては、今後の実績なども踏まえて整理していきたいと考えています。

旭岡委員：心理学の観点では、保育の重要性として、小さい頃から集団で過ごす機会があると子どもの育成にも健全な影響があり、発達障がい等の二次的な障がいも軽減されるというふうに言われています。今まで、養育の困難なご家庭の場合には、保護者の就労等に関係なく保育園に入れていただくようなことがあり、町田の丘学園としてもお世話になったことがあります。今回変更される乳児等通園支援事業については、例えば養育困難家庭なども対象にしているのでしょうか。そうではなく、あくまでも希望制で、もう少し教育的な要素を想定されているのでしょうか。

保育・幼稚園課長：本事業は、0歳6か月から満3歳児になる前までの児童で、保育所等に在園していない子どもを対象としています。これに該当する方は全員対象となるため、要支援家庭のお子様も、もちろん利用できる制度となっています。要支援家庭のお子様につきましては、実施施設である保育所等及び子ども家庭支援課とも連携しながら、利用について調整していく流れとなっています。本事業の実施に伴い、これまで保育所等に通われていないお子様が対象となることで、市とのつながりがなかったお子様が、この機会ですつながるようなことにもなるため、単純にこの事業を利用いただくだけでなく、支援が必要な方を様々な支援機関につなげていくという役割も担っていると考えています。

旭岡委員：現状の週2回までの利用規定について、例えば養育困難家庭のお子さんが入口のハードルを少し下げた形で試行的に利用するなどし、順調に利用できるようになってくると回数を増やすといったようなことができるのでしょうか。それとも、あくまでも事業の規定として切り分けて考えるのでしょうか。

保育・幼稚園課長：2026年度から、国の制度としてこども誰でも通園制度が本格実施となります。これに向け、2026年度以降の運用について現在検討しているところです。そのため現時点でご説明はできませんが、改めて市ホームページ等で公表しつつ、2026年度初回の子ども・子育て会議で報告させていただきたいと考えています。

鈴木会長：それでは、第3期町田市子ども・子育て支援事業計画の変更案について、ご承認ということよろしいでしょうか。

一同：(意義なし)

鈴木会長：ありがとうございます。また、細かい修正等については、会長及び事務局に一任いただくということよろしいでしょうか。

一同：(意義なし)

鈴木会長：ありがとうございます。

(2) 2026年度 町田市子ども・子育て会議の審議事項と年間スケジュールについて

鈴木会長：続いて、議題2 2026年度 町田市子ども・子育て会議の審議事項と年間スケジュールについて、担当課から説明をお願いします。

[資料2の説明]

鈴木会長：2026年度 町田市子ども・子育て会議の審議事項と年間スケジュールについて、ご承認ということでよろしいでしょうか。

一同：(意義なし)

鈴木会長：ありがとうございます。

4 報告

鈴木会長：今回は5件の報告がありますので、質疑は全ての報告が終わった後に時間を取りますので、よろしく願いいたします。

[報告事項(1)～(5)の報告]

関野委員：資料3の乳児等通園支援事業について、1ページの文章2行目に「0歳児から2歳児の未就園児を保育園・幼稚園等で預かり」、2ページに認可定員として「0歳児」「1歳児」「2歳児」と書かれています。また、4ページの2025年度町田市未就園児預かり推進事業の実施事業概要の表には、預かり対象児童の欄に「0歳から2歳まで(満3歳になる誕生日の2日前まで)の未就園児」とありますが、先ほどの議題1の資料1では「満3歳未満」というふうに書かれており、表現の仕方がそれぞれ異なっています。保育園で2歳児というと、その年の誕生日を迎えると3歳になる子どもも、年度内の3月までは2歳児クラスで預かっていますが、満3歳を迎えたときは、2026年度以降の制度ではどの運用とするのでしょうか。

保育・幼稚園課長：2026年4月1日以降の国の制度としては、0歳6か月児から満3歳の誕生日の2日前までがこども誰でも通園制度の対象となっています。

今後、市で発出する資料については整合性をつけ、わかりやすくお示ししたいと思えます。

矢口委員：資料5について、オンライン申請による申請率が86.3%と、非常に高い割合だと思えますが、全申込数が分母になっているのでしょうか。認定こども園を第一希望とする場合は園に直接申請となっているため、そもそもオンライン申請ができない分の申込数を分母から削ると、9割以上がオンライン申請だったのではないのでしょうか。

保育・幼稚園課担当課長：全申込人数の2,913名のうち、86.3%がオンライン申請いただいたという数値になっています。ご意見のとおり、認定こども園が第一希望の方は、園を通して紙で申請を行っていただいたほか、一部、窓口を通した紙媒体のみでの申請もありました。そういった申込数を除くと、かなり高いオンライン申請率になります。

杉浦委員：資料7の成瀬子どもクラブの運営について、子どもセンターでは子ども委員会があり、子どもたちも運営に関わっていくような取組があると思えますが、成瀬子どもクラブでも同様の運営を予定しているのでしょうか。また、開館時間や対象年齢が決まっているようでしたら教えてください。

児童青少年課長：子ども委員会については運営者からも提案があったため、子ども委員会を組織し、子どもの意見を聴きながらクラブを運営する予定になっています。また、本施設は0歳から18歳までの子どもとその保護者を対象としており、開館時間は午前10時から午後6時まで、休館日は毎週日曜日となります。

5 答申

鈴木会長：それでは、本日が今年度最後の子ども・子育て会議となるため、今年度1回目の会議で市長から諮問をいただきました事項について、答申したいと思えます。本日、市長は会議に出席されていませんので、私から鈴木部長へ答申書をお渡しさせていただきたいと思えます。

〔鈴木会長から子ども生活部長へ答申書を手渡し〕

子ども生活部長：いただいた答申を踏まえ、今後の子ども施策を進めてまいります。委員の皆様におかれましては、2年間ありがとうございました。

鈴木会長：2年間、委員の皆様と一緒に様々な課題について考えていくことができ、誠にありがとうございました。引き続き在任される委員の方も、今期で終了される方もいらっしゃると思いますが、引き続き町田市について一緒に考える機会があれば嬉しく思います。ありがとうございました。

6 その他

鈴木会長：他に何かございますか。よろしければ、議事は以上となりますので、進行を事務局にお返しいたします。

7 閉会

子ども総務課企画総務係担当係長：鈴木会長、ありがとうございました。

町田市子ども・子育て会議 第6期委員の任期は2026年3月31日までとなります。今回が第6期委員での最後の会議となり、新年度からは新たな委員構成で会議を開催させていただきます。皆様におかれましては、大変お忙しい中会議にご出席いただき、感謝申し上げます。

以上をもちまして、2025年度 第4回 町田市子ども・子育て会議を閉会いたします。ありがとうございました。